

# 環境 みらい

2013

10



発行所

NPO法人環境みらい下関

〒751-0847 下関市古屋町一丁目18番1号

Tel (083) 252-7220

Fax (083) 252-7222

www.kankyo-mirai.jp

vol. 124

## contents

- 巻頭コラム「日常生活の当たり前の節約が支えるエコの原点」
- 10月のリサイクル教室のご案内
- 環境部だより
- 第11回下関市エコフェスタ

## monthly column

# 日常生活の当たり前の 節約が支えるエコの原点

NPO 法人環境みらい下関

事務局長 堀川清治

「環境」という言葉が日々の生活の中でふんだんに飛びかっているが、残念ながら、はっきりとした定義はないという人もいます。その人は、この言葉を便宜的に定義づけて、環境…とは『人間のいるつながりです』と言う。

それでは、この便宜的な定義をお借りして、変化する環境やエコロジーの世界を少し覗いてみよう。

思えば、バブル絶頂の時期、われわれはエコロジーのエの字も出てこない生活をしていました。

バブル期の大騒ぎが一段落し、世の中の浮ついた景気が下降をたどりはじめ、日常生活に厳しさがじわじわとあらわれ始めた頃“節約”や“リサイクル”と言った言葉が動き出した。それ以後、今日までそれなりに長い間にわたって“環境”や“エコ”といった言葉の氾濫の中で過ぎて来ました。

それで人は無理に『地球や環境にやさしくしよう』と努めていたのではないのでしょうか。そのため、日々の生活に“やさしくしよう——疲れ”が出たようにも思える。

“環境”や“エコ”が人にとって特別なものと考えerことでなく、われわれの日常の生活そのものだと思えばどうでしょう。つまり、主役は地球上の貴方や私なのです。

## エコ生活は大変だ！

さて、水に関してこんな話があります。ヨーロッパの修道院は、進行に基づき質素に最低限必要なものだけで暮らしている中で、1人3分だけのシャワーを使っており、

日本人は水を無駄使いしているという。が、日本人には古くから湯につかる文化があります。それは生活習慣の違いであり文化の違いでもあろう。何と言っても日本の長い歴史と文化、生活の知恵があります。初めに浴槽の水を節水し、最後にはそれを洗濯や掃除更に洗車等を使うので、決して水の無駄使いでなくむしろ水の素晴らしい再利用(Reuse)だと云うべきでしょう。

また、レジ袋について考えてみても、ゴミ袋としてそれなりの使い道があり重宝しました。三角たたみもマスターし、何通りかの細工を楽しみましたが、気が付けば家中の引出は姿を変えたレジ袋で一杯になっていた。そこで方向転換、このエコロジーの時代、レジ袋を貰うことを止めれば(Refuse)ゴミの減量につながる。それが、個人としてエコ戦線への参加となる。そして今は、マイバックによって代われ、資源の無駄づかいの役割を降りている。これも日常生活の中から出た節約の知恵でしょう。

結局、生活と密接に係っている部分でどのように無駄を省くかが問題で、何気ない知恵を大切に、当たり前の節約を当たり前に大事にすることでしょう。

私たちは、日常の生活の中で精一杯エコロジー的に振舞っていますが、個人が一生懸命に取り組んでいることがどれだけエコロジーに貢献し反映しているのだろうか？ なかなかその姿が見えないのが残念です。

「大きなことは無理だが、小さなことをコツコツと」の気持ちを持って、エコロジーやリサイクルについて、今後も自分の身の丈のエコロジーと地球を見つめて行きたいと感じる、今日この頃。

(2013.9.吉日)



## 10月のリサイクル教室のご案内



曜日	日時	講座名 講師名	講座内容
火	1日 10～15時	組みひも 津森 美智子	古布及び毛糸などを利用して、帯締めや各種ヒモ類を作ります。 持参する物:参加料 400円・裂き布・毛糸など・昼食 定員:4名
	8日・22日 10～12時	着付け 津森 美智子	「着る」「着せる」を貴方の目的やペースに応じてご指導いたします。 持参する物:参加料 400円・着物・帯・その他小物 定員:10名(2日間参加できる方限定)
	8日・22日 13～15時	和服のリサイクル 芳川 妙子	古着物や古帯を利用して、オリジナル作品を作ってみませんか。 持参する物:参加料 400円・ゆかた・着物・帯・裁縫道具 定員:10名(2日間参加できる方限定)
	8日 10～12時	廃食油で石けん作り 福井 和恵	ご家庭の廃食油を材料にして石けんを作ります。 持参する物:参加料 150円・エプロン 定員:20名
水	2日・16日 10～12時	布あそび 森田 芙路恵	古和洋服を利用して貴方の生活に役立つものを作ります。 持参する物:参加料 400円・不用の布・裁縫道具 定員:15名
	16日 13～16時	古布でぞうり作り 佐藤 緑	持参する物:参加料 400円・30cmものさし・はさみ・洗濯バサミ 2個 綿で縦布(幅 10cm、長さ 60cm)34本 (幅 9cm、長さ 80cm)1本 (幅 2cm、長さ 35cm)4本 (幅 6cm、長さ 45cm)1本 定員:16名 18日と2日間できる方限定。
木	3日・17日 10～14時	古布で小物 永岡 ハツエ	古布で「季節の小物」を作ります。 持参する物:参加料400円(材料代別)・裁縫道具・手芸用ボンド・軽食 定員:10名(2日間参加できる方限定)
	10日・24日 10～12時	パッチワーク 小笠原 典子	ミニタペストリー・バッグ・小物などを作ります。 持参する物:参加料 400円・裁縫道具・材料のハギレ 定員:10名
	10日・24日 13～15時	毛糸で小物 内田 チズ子	最初はあまり毛糸でタワシを作ります。 持参する物:参加料 400円・中細くらいの毛糸・カギ針 4～5号 定員:10名
	10日・24日 13～16時	表具 森 宏司	掛け軸や色紙掛けを作ります。 持参する物:参加料 400円(材料代別) 定員:5名(2日間参加できる方限定)
金	11日 10～15時	染色(草木染め) 新田 悦子	「あい染(あいの生葉)」をします。 持参する物:参加料 1,500円、薄地のTシャツ(半袖)、又は 50cm角 の木綿布、エプロン、ゴム手袋、昼食 定員:6名
	18日 13～15時	古布でぞうり作り 佐藤 緑	16日の続きから編みます。 2日間参加できる方限定。
	11日・25日 10～12時	裂き織り 小笠原 典子	木綿や絹の古着を裂いて、バッグ・インテリアグッズを作ります。 持参する物:参加料 600円・木綿や絹の古着・ハサミ 定員:8名 ※編み機持参者可※参加料は同じです
	25日 10～14時	エコッキング 家根内 清美	持参する物:参加料 600円・エプロン・三角巾・筆記用具 定員:20名 場所:山口合同ガス ひまわり館 下関市本町三丁目 1-1 締切り:10月18日(金)
土	5日・19日 10～12時	布のリフォーム 高田 和代	古い着物や衣類を蘇らせ、自分だけの一着を作ります。 持参する物:参加料 400円・裁縫道具・解いた服や着物 定員:10名
日	6日 10～12時	ガーデニング 久田 豊樹	作物の植え方、土作りの講習 持参する物:参加料 定員:10名
	20日・27日 10～12時	ガラス工芸 木下 照親	ガラスに砂を吹き付け削り、オリジナル絵柄作品を作ります。 持参する物:参加料:1回 400円・ガラス製のコップ・鉛筆 定員:10名

### ◎教室の申込み方法◎

10月1日(木)午前10時～電話受付を開始します

<申込みが少数の場合及び、講師の都合等により中止や延期になる場合がありますので、ご了承ください>



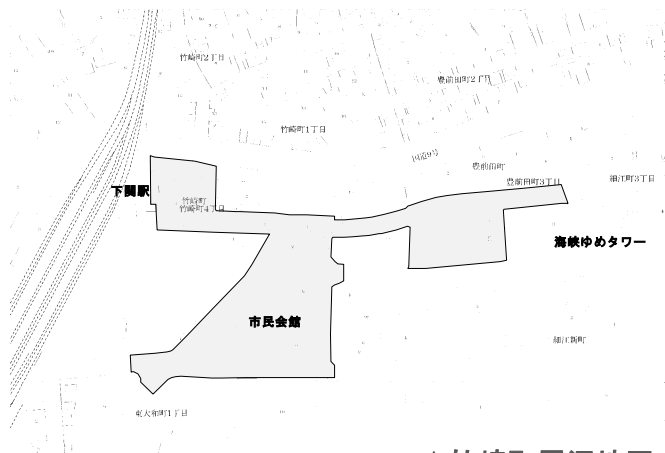
## 下関市環境美化条例(路上喫煙の防止)について

### 1. 状況

下関市では、平成10年に「下関市環境美化条例」を制定し、市内における飲食物容器やたばこの吸い殻等のポイ捨て、飼い犬のふんの放置、公共の施設への落書きを禁止行為として規定しました。空き缶等のポイ捨てや壁面への落書きは減ってきましたが、ターミナル駅や観光地等の多くの人が集まる場所では、たばこの吸い殻のポイ捨ては、まだまだ目立つ状況でした

### 2. 路上喫煙等禁止地区

平成20年7月1日に、環境美化条例を改正して観光客が集まる唐戸町周辺地区と多くの人が行き交う竹崎町周辺地区(下関駅周辺)の二つの地区を「路上喫煙等禁止地区」として指定しました。



▲竹崎町周辺地区



▲唐戸町周辺地区

### 3. 市民等への周知啓発及び指導等

市民や観光客へ周知するために、路面表示シールや指定地区表示看板を設置しています。また、喫煙者と非喫煙者の共存のために指定喫煙場所も設けています。

違反者に対する指導は、環境美化推進員3名が指定地区内を巡回し違反者を発見した際には、直ちに過料処分を行っています。



▲路面表示シール



▲指定地区看板



▲指定喫煙場所

### 4. 条例の効果

路上喫煙等禁止地区を指定した平成20年7月から、路上ごみ実態調査を実施しています。指定前と比較すると、たばこの吸い殻は約12分の1に減少しています。

2013  
10/13  
(日)  
9:30~15:00

第11回 しものせき環境みらい館開設10周年記念

# 下関市エコフエスタ

kankyo-mirai shimonoseki



しものせき環境みらい館

## 環境講演会 3階 第2研修室 13:00-15:00

- 13:00-13:20 ◆ 報告 「萩市災害支援に従事して」  
報告者 下関市環境部クリーン推進課職員
- 13:30-14:45 ◆ 講演会 「循環型社会の形成を求めて」  
-ごみゼロをめざすEPR(拡大生産者責任)の本質-  
講師 明治学院大学教授 熊本 一規 先生
- 14:45-15:00 ◆ 助成金授与式 「平成25年度環境活動助成金授与式」



1949年生まれ。東京大学工学部都市工学科・同大学院卒。横浜国立大学経済学部講師などを経て現職。専門は環境政策、環境経済。環境問題、ごみ問題、漁業権や水利権等を含む埋め立て問題等を長年にわたって研究すると同時に、全国各地で住民・漁民達とも行動を共にしてきた。主な著書に、「過剰社会を超えて」「これからの日本農業」「埋立問題の焦点」「ごみ行政はどこが間違っているのか?」など

熊本一規 先生 (Kumamoto Kazuki)

## リサイクル教室作品展及び各種催し 9:30~15:00

### ■屋外

- フリーマーケット

### ■1階

- 再生工房製品・エコ商品販売
- 企業・市民団体のパネル展示  
環境活動紹介
- 自転車メンテナンス相談  
(My自転車持参可) ※無料
- 喫茶コーナー(コーヒー・クッキー)
- クッキー作り体験 ※材料代100円

### ■2階

- リサイクル教室 作品展
- しものせき竹取物語 作品展
- 紙すき体験 ※無料

### ■3階

#### 第1研修室

- エコバッグ作り
- 小枝クラフト
- ガリガリプロペラ・風車作り
- 木工教室
- かわり絵 ※材料代 各100円

#### 第2研修室

- 環境講演会 13:00~15:00  
「循環型社会の形成を求めて」  
-ごみゼロをめざすEPR(拡大生産者責任)の本質-  
講師 明治学院大学教授 熊本 一規 先生

#### 和室1・2

- 紙芝居・絵本の読み聞かせ エコかるた ※無料

お問い合わせ

## しものせき環境みらい館

〒751-0847  
下関市古屋町一丁目18番1号  
TEL083-252-7220 FAX083-252-7222

開館時間 10:00-17:00  
休館日 月曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)  
交通案内 バス下関方面「坂田」川棚方面「神田中央」より徒歩5分

